

札幌市勤務医協議会ニュース

発行 札幌市勤務医協議会
札幌市中央区大通西 19 丁目
札幌市医師会館内

巻 頭 言

「医学教育 2023 年問題」と「Student Doctor」

副会長 成田 吉明

勤務医協議会会員の皆さん、相変わらず北海道の夏の終わりは唐突で、これから寒暖の差が激しい時期を迎えますが、体調など崩されぬようお気をつけください。

さて、皆さんは標題の「医学教育 2023 年問題」と「Student Doctor」について見聞きされたことがありますか？

「2025 年問題」の間違ったのではと思われる方もいらっしゃると思います。私もつい最近この言葉と背景を知りました。今更と思われる方も多いかもしれませんが、少しでも多くの方にこの件をご紹介したく、今回のテーマに選びました。

『2023 年以降は、国際的な基準で評価を受けた医学部の卒業生にのみ、米国医師国家試験の受験資格を認める』という声明が、米国の^{#1}ECFMG から出されたのは 2010 年 9 月のことです。海外の医学部を卒業して米国で医師免許を取得した医師が増加し、教育レベルの差が問題視されはじめたということが背景だそうです。既に海外では国際基準に則した医学教育を行うことは当たり前のことで、第三者機関が医学部を定期的に審査しており、アメリカやイギリスなど先進国のみならず、韓国・台湾・タイ・マレーシアなどアジア諸国にも展開されています。

お気づきのことと思いますが、このままでは、日本の医学部を卒業しても米国医師国家試験の受験資格が得られないということになります。このことは年間 50~60 人と言われている受験者の問題のみならず、日本の医療の質そのものに対して疑念を持たれることにもなりかねません。

そこで、我が国でも 2011 年に全国医学部長病院長会議による「医学教育の質保証検討委員会」を発足し、

2012 年には文科省のモデル事業「国際基準に対応した医学教育認証制度の確立」を開始、2015 年には「^{#2}日本医学教育評価機構 (JACME)」が新設され^{#3}世界医学教育連盟 (WFME) のグローバルスタンダード日本版を完成させ、医学部における医学教育の第三者評価を行うことになったという訳です。各医学部は 2023 年までに JACME の認証を受ける段取りとなります。

この大改革に伴って、各医学部は臨床実習を、国際基準に合わせてこれまでより 20 週前後多い 70 数週間へ増やす必要に迫られました。また従来「見学型」から「参加型」へ臨床実習の質の改善も求められ、大学付属病院に限られた教官・指導医・受持ち患者では対応しきれないという事態に至りました。

そこで 2014 年度より、全国医学部長病院長会議が共用試験合格者を「Student Doctor」と認定し、医学生に実習の範囲内で医行為を行える認証を与え、市中病院での「参加型臨床実習」への道筋をつけたのです。

当院にも内科・小児科・外科・産婦人科で計 19 名の「Student Doctor」を北大から受け入れます。「地域全体で若い医師を育てる」という意識を、関係する職員は勿論、患者さんやご家族、地域住民などに持っただけのことを祈念して、これで筆を置きたいと思います。

#1.ECFMG (Educational Commission for Foreign Medical Graduates ; 外国医学部卒業生のための教育委員会)

#2.日本医学教育評価機構 (JACME) : Japan Accreditation Council for Medical Education

#3.世界医学教育連盟 (WFME) 医学教育のグローバル化と標準化を推進する WHO 関連の非政府組織

(手稲溪仁会病院)

新 役 員 就 任

役員就任のご挨拶

幹事 太田 秀造
(事業部：札幌理事)

このたび札幌市勤務医協議会の役員に就任いたしました札幌太田病院の太田秀造です。先般の札幌市医師会役員改選で会員福祉部担当理事を拝命し、札幌市勤務医協議会の役員会に出席させていただくことになりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

自己紹介をいたしますと、昭和41年札幌生まれ、山の手小学校、琴似中学校、札幌西高を経て平成6年東邦大学卒業です。東邦大学大橋病院脳神経外科に入局して関連病院等での研修ののち、平成10年から精神科に移って現在の施設に勤務しています。日常の診療では、疾患の種類を問わず、子供から高齢者まで、軽症から重症まで、まずはご相談をお受けして必要な支援をさせていただくようこころがけています。臨床以外では、札幌市の「心の健康相談」業務や、刑事事件の責任能力鑑定、心神喪失者等医療観察法の精神保健判定医の業務等も担当させていただいております。札幌では平成25年4月に理事に就任し、3期目の今期からは地域福祉部長として介護保険、認知症対策を担当することとなりましたので、先生方のますますのご指導ご協力をお願い申し上げる次第です。

「医師」とひとことで言いますが、臨床医のほか行政職・研究職、また産業医といった役割もあり、医療以外の分野で活躍している医師資格保持者もいます。

臨床医には経営者・管理者・勤務医の区別があり、勤務医にはそれぞれ職位もあります。診療科、施設の規模・役割、公的施設と民間施設、都市部と地方、守備範囲（高度急性期、回復期、慢性期、在宅など）の違いなど実に多様です。そして立場が共通する人びとで構成される団体（学会、医会、病院団体等）が多数存在してそれぞれが意見や提案をします。さらに医師である前に一個人であり、思想信条も同じではなく、家族構成や生活環境もそれぞれです。「医師」全体に共通していることは、極端に言えば「かつて一度医師国家試験に合格したことがある」だけかもしれません。日医を中心とした医師会が「医師」集団の代表として最も適当であると認知されていますが、各種論点について意見の集約が必ずしも容易でないことは当然であると思われまます。

人口減少・少子高齢社会が現実のものとなり、今後さらにこの傾向が加速していく現実のなかで、国民皆保険制度を堅持して地域に必要な医療を提供していくことと、地域社会ひいては国家全体を安定して運営していくことは同義です。われわれ医師は上述したようなさまざまな立場を超えて、「国民皆保険制度を維持して必要な医療を提供する」ために議論・行動する必要があります。札幌会員約四千人のうち勤務医会員は約7割を占めており、札幌市勤務医協議会のはたすべき役割はますます多大なものがあると存じます。私もまことに微力ではありますが、与えられた職責を果たす所存ですので先生方にはご指導ご鞭撻をたまわりますようよろしくお願ひ申し上げます。

(札幌太田病院)

保険で先生の生活の安心を
お手伝い。
幌社はそんな会社です。

- ・自動車保険
- ・火災保険
- ・所得補償保険
- ・医師賠償責任保険
- ・ゴルフ保険
- ・医療保険
- ・終身保険
- ・定期保険
- ・がん保険
- ・その他各種損害保険、各種生命保険
- カーリース、車両斡旋（全メーカー、全車種対応）
- リース（医療機器等）・・・等も行ってあります。

詳しくは下記にお問い合わせ下さい。

札幌市医師会指定保険代理店
株式会社 幌社（こうし）

〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目 札幌市医師会館3階

TEL：011-641-7644

FAX：011-644-0157

☎：0120-089-50



いままででいちばん大きなヤマメを釣った話

議長 三橋 公美

65歳を過ぎてからの勤務医生活をお話します。土曜・日曜・祝日の当番は若い2人の先生が手分けして行っておりますので、勤務は月曜から金曜までの週5日間です。もちろん当直は免除されております。

さて、1日の時間割は、朝7時前には病院に到着し、電子カルテを開いてまず、委譲者オーダーを承認します。次いで泌尿器科入院患者さんの今朝までのチェック等を行います。そしてその日の外来患者さんの予約状況をチェックします。8時前には、2名の若い医師と3人で回診を始めます。回診が終わり次第外来に向かいます。外来は毎日ありますが、月曜・水曜・金曜が午前・午後です。火曜と木曜は手術日で、午前中は若い2人の医師が9時過ぎより手術しており、ほぼ私一人の外来となっております。平成元年より今の病院に勤務しており、外来患者さんは私一人で、月曜・水曜・金曜は午前・午後で60名から80名、火曜と木曜は40名から50名を診察しています。ちなみに若い二人の先生と言っても50歳代のベテランと30歳台の専門医です。お二人には大変感謝しております。

さて、閑話休題ということで、土曜・日曜・祝日は妻と好きな釣りにいつでもいけることとなります。先日、お盆の次の土曜・日曜に妻の運転で温根湯温泉に行ってきました。目的は生田原の穴場での溪流釣りです。ここでの獲物は、ほとんどがヤマメで、一割位にイワナとオショロコマが混じりで釣れてきます。穴場というのは、かなり山奥に入ったところで、入渓する基点より上には人家が一軒あるのみです。去年は、3号が立て続けに上陸した台風により大雨で、川が増水していて大変釣りづらかったのですが、かえってそのためサクラマスの遡上が多かったらしく、新子(今年の春に生まれたヤマメ)の入れ食い状態でした。

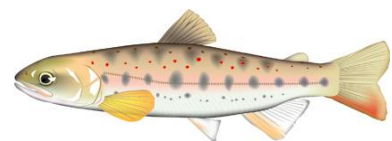
土曜は朝9時から午後1時までと、昼食をはさみ一休みしての午後4時までの6時間で、妻と二人で300匹以上釣り上げました。日頃の運動不足のため案の定両下肢は筋肉痛となり、温根湯温泉のホテルにチ

ェックインするやいなや、温泉にじっくりつかって筋肉をほぐし、湿布薬を両下肢にペタペタと貼って寝たのですが、夜中に湿布を追加して対応しました。

翌朝も朝6時前より温泉に入り、朝食後は10時まで仮眠をとってチェックアウトしました。妻に札幌に帰る前にもう一度釣りたいと、前日は釣り下ったので、上流に入渓していきました。私はゆっくりと仕度して、車のすぐそばから川に入り、そこから7~8m下流の淵で釣ることにしました。瀬よりエサを流し込むこと3投目に淵の底でガツンと当たりが来ました。沈んだ木の枝か岩の間に引っ掛かったかと思った瞬間に糸が左右、前後に走り出します。そこからは攻守譲らず、やったりとったりの大騒ぎ、これが静かな山の中の溪流で行われています。周囲から聞こえてくるのは、鳥のさえずり、虫の羽音、川のせせらぎのみです。数分後水面に姿を見せたのは、顔はまっ黒で、横腹にお決まりのパールマークのある尺ヤマメでした。今まで尺ヤマメは釣ったことがなく、心臓がドキンとします。ハリスは0.8号と細く、いつ切れるかと心配になります。そこで何度も頭を水面より出して弱らせることにしました。落ち着いて魚の顔を見てみると立派な鼻曲りのオスです。ヤマメのメスは5月末から6月頃にパールマークが消えて銀毛となり降海していきます。したがって川に残るヤマメはほぼ100%がオスなのです。7~8分も経過すると魚も弱ったと見え、おとなしくなり岸に寄せて糸をもって岸に引っ張り上げて、やっと一息つきます。時計をみるとちょうど12時でした。真昼の決闘の一件落着です。これで2日間の釣りは終了しました。

帰宅してから、祝杯をあげながら記念写真をメジャーとともに撮影したら29cmでした。

(JCHO 札幌北辰病院)



ご 案 内

事業部から 平成29年度産業医研修会開催について

例年開催しております『産業医研修会』を下記のとおり開催いたします。
多数のご参加をお待ちしております。

記

- ・日 時：平成29年11月30日（木） 午後6時30分
- ・場 所：札幌市医師会館5階「大ホール」（札幌市中央区大通西19丁目）
- ・演 題：『我が国の肺結核の現状と職場管理』
- ・講 師：J R札幌病院
保健管理部 鷲野 考揚 先生
- ・主 催：札幌市勤務医協議会
- ・共 催：札幌市産業医協議会・札幌市病院協議会・札幌市医師会・北海道医師会

アンケートの実施について （お願い）

当協議会では、「女性医師の勤務状況」に関するアンケート調査を実施しております。女性医師、男性医師それぞれのご意見をお伺いし、仕事と家庭事情を両立させるためにはどのような工夫が望ましいのか、アンケート調査を通して具体的な提案ができればと考えております。

勤務医協議会の会員の先生におかれましては、アンケートの回答にご協力いただけますよう、一緒にご勤務されている先生方にお声がけいただきたくお願いいたします。

*アンケート実施期間：9月末～10月末



「札幌市勤務医協議会 ニュース」の閲覧について

「札幌市勤務医協議会ニュース」を札幌市病院協議会のホームページに掲載しております。

過去1年くらいのバックナンバーも閲覧できますので、是非ご覧ください。

札幌市病院協議会ホームページ URL
<https://www.sapporo-byoinkyo.jp/>

